

1414059 瀧ヶ平 充 4/20

# 数学科教育論レポート

## 我が国の児童生徒についての課題に対して

### 思考力・判断力、表現力などの読解力や活用力について

私の中学生時代を振り返ると、友人と会話する際に慣用句や故事成語、諺などを用いたとき多くの友人が意味を正しく理解していなかったり、どういう意味かを聞き返してくる経験が多かったと思う。

私は小学生のころから本を読むのが好きで、人並みに読書をしたり、分からない単語を辞書で調べたりなどの習慣があった。

同じような習慣を持つ友人に対しては前述のようなことはなかったため、やはり読書習慣や辞書を引く習慣などの学習態度や知的好奇心が育まれることがこの問題を解決するために必要のように思う。

### 成績の分配の拡大,家庭学習の低下,学習意識,学習習慣,生活習慣について

中学生当時、私はあまり長期的な将来の目標などが無くあまり授業態度も良くなかった。

当時の周りの人を見ていても将来の目標などがあいまいな人ほどあまり成績もよくなく、学習意識も低かったように思う。

私は目的意識を持つためにやはり、早い段階からキャリア教育を充実させることを重視するべきだと思う。

### 自分への自信の欠如

私自身も自分への自信が欠如している。その原因は家庭の問題なのかと思う。

私は良い成績を取ったときなど、自身が何か良いことをしたとき褒められるなどの経験があまりなかったと思う。

逆に失敗などに関して責められることなどそういったことは多くあったと記憶している。

そのため、良い成績を取ったときや何らかの良いことをしたときなどには子供をしっかりと褒め、逆に失敗したときは責めるのではなく反省を促すような家庭環境が充実することがこの課題の解決につながるのではないかと思う。